



波照間小中学校HP

# んぎしいた おーりよー

※島の言葉・方言で「また、来てください,,,」の意味

波照間島は、日本最南端の有人島です。人口は約460名程。島への交通手段は石垣島からの船便で、所要時間70分～100分。2024年1月より、待望の航空便(石垣・波照間：週3便[月・水・土])が“18年ぶり”に再開しました。

青く澄んだ海、満天の星空、サトウキビ畑を渡る風～。自然の美しさに目を奪われる島ですが、それ以上に「人の温かさ」に心を打たれます。

波照間島の一番の魅力は、「子どもを地域みんなで育てていること」です。

波照間には「すむづれ」ということばがあります。これは島の方で、「手に手をとって」「心をひとつに」「思いやり」を表しています。波照間島は古くからこの精神を大切にしています。地域の方が、自分の畑でとれた作物を、学校に持ってきて下さる。4月の浜下り(ハマウリ)では、保護者や地域の方々と、海へ入り、海からの恵を頂き、畑では、サトウキビづくりを教わり、島の伝統行事では青年会の皆さんから棒術を教わったり、お年寄りから島の歴史や文化を学ぶ。学校だけではできない学びが日常としてあります。

子どもたちは、異学年の交流を大切にし、互いを思いやりながら生活しています。今年度(令和8年度)児童生徒数の在籍は小学校34人、中学校17人、合わせて51人。教職員数は26人です。

学校では、地域人材を含む地域資源素材を効果的に活用した学校経営と、竹富町が推進する「海に親しむ・海を知る・海を活用する・海を守る」教育活動の「海洋教育」に積極的に取り組み、自然に恵まれた癒しある地域、癒しある学校で「島と海と地域を愛し、共生・協働じりつ(自律・自立)できるウタマ」の育成を目指しています。

※「ウタマ」は島の言葉・方言で「子ども」を表す。

ぜひ、波照間島へいらしてください。 んぎしいた おーりよー。

<波照間島：ニシ浜から望む西表島>



水泳教室



黒糖贈呈式



生活支える共同売店(4店舗)



栄養満点の給食



山羊の飼育



海洋教育の充実(「水泳教室」時の集合写真)



もちきび収穫体験



黒糖作り



運動会「校歌ダンス」

日本最南端の学校

◇小学校… 創立132周年  
◇中学校… 創立78周年

# 竹富町立波照間小中学校

